

## 第14回FD講演

2014年2月17日～18日



文教育学部芸術・表現行動学科舞踊教育学コースと韓国芸術総合学校舞踊院は大学間国際交流協定を締結しており、毎年お互いの舞踊作品卒業公演において学生作品のエクスチェンジを行っています。その韓国総合芸術学校舞踊院で「モダンダンスリリーステクニック」の授業担当である鞠 銀美 (Kuk, Eunmi) 氏を招聘し、FD 企画である講演会①「モダンダンスリリース

ステクニックにおける身体の気づき」、講演会②「動きに伴う感覚に注意を向けるフェルデクライス・メソッドを基盤とした踊るための身体づくり」を開催しました。実技講習を含む講演は全て英語で行われ、最後の質疑応答は受講者からの日本語をお茶の水女子大学で舞踊の学位を取得した李世珍氏が韓国語に通訳しながら、身体のアライメントを確認し身体への気づきを研ぎ澄ますことや身体の重みを認識することなどに関して活発なディスカッションが展開されました。

2月17日(月)17時～20時に開催された「モダンダンスリリーステクニックによる身体の気づき」では、仰向けに寝た姿勢で心と身体を解放し、自身の身体を感じるという一番大切で基本的なところから始まり、最後には立つ姿勢での身体の全体性をつかみ取るというムーブメントに発展した内容でした。その後のディスカッションでは、具体的な身体感覚の質問に対して丁寧な解説がなされました。



2月18日(火)13時~16時に開催された「動きに伴う感覚に向けるフェルデンクライス・メソッドを基礎にした踊るための身体づくり」では、ヨガマットに寝た姿勢での身体の気づきを促す方法から始まり、身体の軸が明確になった後で、フローワークによるエクササイズや移動する動きにつながっていきました。講演のまとめでは、細やかな身体への気づきに関してフェルデンクライス・メソッドにも触れながら説明がなされました。最後には受講者からゆったりと伸びやかに身体への気づきに導かれる鞠 銀美(Kuk,Eunmi)氏の講演に対して感想が述べられ、その感想を受けて他の受講者から質問が出されるという学びの深まりを感じることができました。

